

今回の部誌は沖縄旅行ダイジェストを綴っていこうと思います。

今年の夏に末國真子（マブダチ）と沖縄に行きました。テストそっちのけで計画を立て、2人とも再試を乗り越え、無事沖縄に行くことができました。東京での乗り換えで、1時間早く搭乗時間を勘違いし羽田空港を死に物狂いで疾走したことからこの旅行は始まりました。沖縄につき、30℃を超える猛暑の中、ホテルへの行き方がわからず、勘で中国人観光客について行った結果、無事ホテルに着くなど最初からグダグダです。1日目は首里城に行ったりアイスやステーキを食べました。1日目はただただ暑く、持ってきた麦わら帽子は意味がなく、この日のために買ったはずが沖縄に着くまでの気分上げグッズという役目だけになってしまいました。沖縄に本当に必要なものは日傘だということを学びました。2日目はソーキそばが食べたかったのですが、1軒目定休日、2軒目臨時休業、3軒目大行列という詰めの甘さと運のなさに打ちのめされ、その日のお昼はファミレスのステーキになりました。その後、美ら海水族館やシーサー作りをしました。作ったシーサーが真子の物と比べ悲壮感が半端なく、モノ作りは作り手を表すとはこういう事だとひしひしと感じました。また、夕食は「100年古屋 大家（うふやー）」へ行きソーキそばを食べようと思ったのですが、そこでもそばはランチの時間しか提供していないという全くソーキそばに愛されない1日でした。しかし代わりに食べたあぐ一豚のしゃぶしゃぶがとてつもなく美味しく、至高の極みでしたのでぜひ沖縄に行った際は寄ってみてください。そして残念なことに、この時点で沖縄に来てから買った食べ物はアイスと肉のみという私達の肉への執念に自分たちでもゾツとしてしまいました。帰り道ではへろへろになりながらも慣れない夜道を台風の中運転し、警察に捕まらず生きて帰ってこれたのは本当に奇跡でした。この時スクエニは何度起こしても睡魔にやられ、私は血眼になりながら運転したのがいい思い出です。3日目は台風に見舞われ予定していた海に行けず、タクシーにはハラハラさせられ車に傘を忘れる、気に入った水着は見つからない等、わりと残念な3日目だったのですが、4日目に晴れることを期待して夜は居酒屋に行きました。そこで人生初の軽いナンパをされ、マンボウの刺身やカエルの天ぷら、ハブ酒や泡盛などを満喫して気分上々で3日目が終わりました。4日目は奇跡的に晴れたのですが、まさかのマブダチ末國が体調を崩しやむを得ず海には行かず、沖縄に行ったのに海に行かないというとても色濃く楽しい沖縄旅行になりました◆